

総合的な学習の時間の第1の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学校の教育目標

『「社会課題を解決するイノベーター」の卵を輩出すること』

各学校で定める目標と育成する資質・能力

「21世紀の国際社会に通用する主体的な学び手をつくる」

- 「イノベーション力」（行動力・創造力）
○「問う力」（探究心・思考力）
○「確かな基礎学力」
○「学び続ける力」

総合的な学習の時間の学習評価

- 社会への関心や理解が促進され、「総合知」と多様性、ならびにデータ／デジタル技術を活用した的確な課題解決手法を実践することができ、それによりイノベーション力（行動力・創造力）が効果的に育成されること。
○探究的な学びを通じ、学び続ける力や、基礎学力、思考力の定着を図る。教科横断での学びを通じ、総合知の活用を身に付ける。ICT活用、データにもとづいて表現する力を養う。
○社会への関心や理解を促すとともに、既存概念にとらわれない発想の習慣を身に付けることができる。

生徒の実態

- ・「問う力」を身に付けさせたい。
・データ等のエビデンスにより実践の客観性と再現性をさらに高めさせたい。
・探究テーマについて、受益者像や価値認識を明確にさせたい。
・社会理解の浅さや関心・動機の薄さを克服させたい。
・探究活動を通じた課題解決を主体的なキャリア設計につなげさせたい。
・社会課題の解決を自分ごとにし、キャリア教育の機会とさせたい。

生徒の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする生徒への指導

- ・丁寧かつ計画的で分かりやすい授業
・少人数学習による個に応じた授業
・対話的、協働的な授業
・家庭や関係諸機関との密な連携
・生徒・保護者との面談
・スクールカウンセラーとの連携
・学年・学校での情報共有
・地域との密接な連携

目指す生徒の姿

- ・本物の社会課題をテーマに真正な手法で課題解決を目指す
・「総合知」を身に付け活用する。
・データとデジタル技術を活用する。
・学び続ける力や基礎学力、論理的思考力をしっかりと身に付ける。
・キャリア教育と連携し、社会への関心や理解を促進する。
・実社会に学びを開き、多様性を「てこ」にイノベーションを創発する。

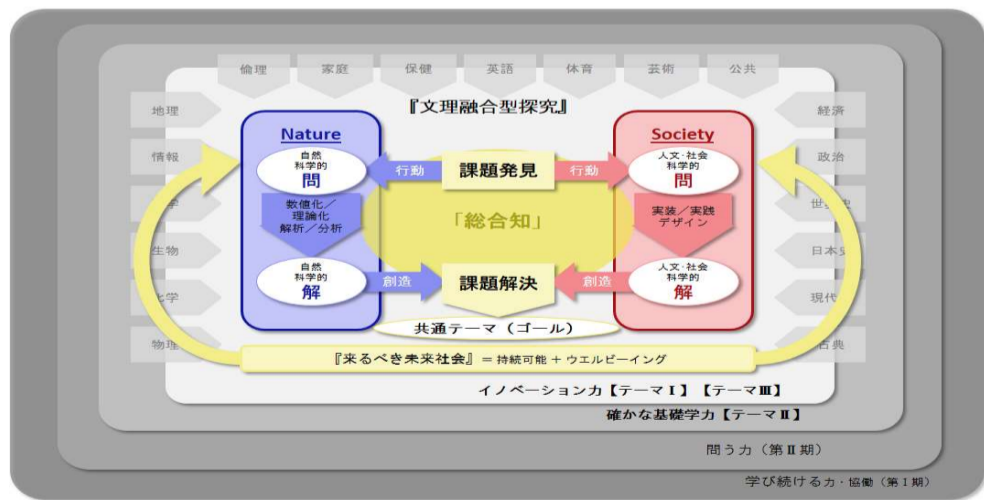
各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力）

【研究開発課題（SSH第3期）】

「総合知」で地域とともに社会課題を解決し、イノベーション力を育成する真正な教育手法の開発

【内容】（授業名称）

- 附属中1～3年：「総合的な学習の時間」
○高校1年：「白幡総合探究Ⅰ」
○高校2年：「白幡総合探究Ⅱ」（Aコース理系以外）「白幡理数探究Ⅱ」（Aコース理系）
○高校3年：「白幡総合探究Ⅲ」（Aコース理系以外選択制）「白幡理数探究Ⅲ」（Aコース理系選択制）

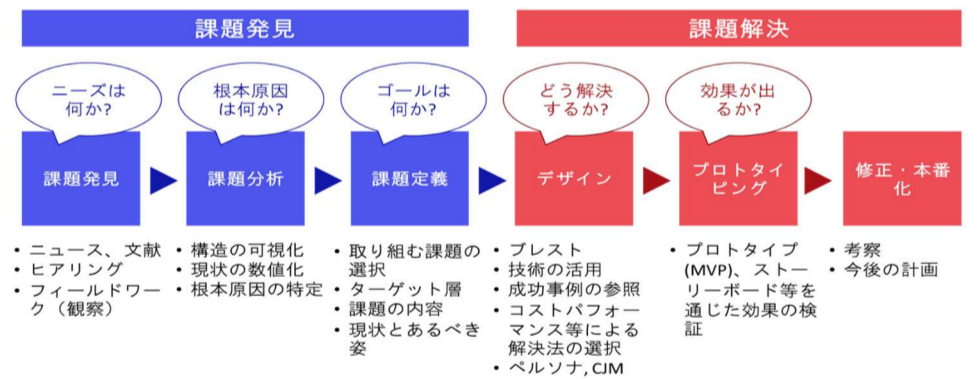


○定時制1～4年：「蛟龍タイム」

学習活動、指導方法等

- 【学習活動】1 本物の社会課題を解決する探究プロジェクト 2 総合知を育む教科学習 3 行動力・創造力を育む課外・校外学習

【社会課題解決のサイクル】



【6か年の探究カリキュラム】



指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

- 1 本物の社会課題を解決する探究プロジェクト
① 6年一貫した探究カリキュラム ② 学びの密度が濃い真正で科学的な探究手法の採用 ③ 課題解決についての標準的な教材作成とファシリテータの人材育成
④ 「総合知」を活用して課題解決を行う ⑤ 異文化間での協働を通じたイノベーション創発 ⑥ データ・デジタル技術の積極活用
2 総合知を育む教科学習
① 「問う力」の底上げ ② 教科と探究の連携を太くする工夫 ③ 総合知を強化するための仕掛け
3 行動力・創造力を育む課外・校外学習
① 本物に触れる良質な体験学習 ② キャリア教育の大幅な拡充 ③ サイエンス部、グローバル部、自主課外等との連携 ④ 時間を空け主体性を上げる（単位制を活用し生徒主体で選択・履修）
【地域との連携】「龍ヶ崎市×市内高校の探究に関する包括連携協定」・「茨城県立竜ヶ崎第一高等学校・附属中学校と関東鉄道株式会社との連携・協力に関する包括協定」